

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策06 電子情報化の推進	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の達成状況】 喫緊の課題であった住民情報システムの更新については、再構築事業者の選定が完了し、今後は最新のパッケージシステムが有する機能を最大限利用することによる市民サービス向上を達成するための仕組みづくりを進めていく。 e-Japan構想が唱えられてから久しいが、電子政府の実現とまではいえない状況の中、社会保障改革のツールとしてマイナンバー法案が閣議決定され、（仮称）社会保障カードの行方が電子政府・電子自治体の進展に大きな影響を与えられる。 成果指標は少しずつではあるが向上してきており、前述の事項及びコンビニ交付の開始などにより更なる向上が期待できる。</p>	<p>施策の達成状況で「パッケージシステム」と「e-Japan構想」という言葉があるが、一般的にはわかりにくいように思うので説明書きをするなど補記できないか。</p>	<p>「業務システムを統合した最新のパッケージシステム」、「日本型IT社会の実現を目指す「e-Japan構想」」と補記を加える。</p>
	<p>内容の多くが期待感や今後の予定であるので、達成状況の記載としては相応しくない印象を受ける。</p>	<p>今後の期待感や予定についての表現を改め、達成状況として相応しい表現にする。</p>

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の環境変化】 【社会的変化】 ●情報通信技術の進展に伴うインフラの高度化（スマートフォンやタブレット端末の普及など） ●情報通信技術を利用した民間事業者などによる新たなサービスの提供（ソーシャルネットワーキングサービス・音楽配信・動画など） ●社会保障に関するマイナンバー制度導入閣議決定（国会審議中） 【江別市特有の変化】 ●緊急速報エリアメールサービス開始（市内の携帯電話端末に避難勧告など緊急性の高い情報を一斉配信するサービス） ●住民情報システム再構築事業者の決定 ●コンビニ交付システム構築の決定（住民基本台帳カードの多目的利用により、コンビニエンスストアのマルチコピー機で住民票などの交付を受けることができるサービス）</p>	<p>環境変化の欄は、ほかの施策と同様に「てにをは」をつけて文章化した方がよいように思う。</p>	<p>検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【施策の目的】 市民がいつでもどこからでも必要な情報を入手できるように行政の情報化をすすめるとともに、市民の情報リテラシーの向上に努めます。</p>	<p>「市民の情報リテラシーの向上に努めます」という部分に該当する成果指標が必要ではないか。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策06 電子情報化の推進 基本事業01 行政手続の電子化	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】 グループウェアの活用による職員間の情報共有は、業務上不可欠なツールとして定着し業務改善に大きく寄与している。 市民向けの行政手続きの電子化については、必要書類の添付や手数料の納付などが必要な手続きが多いため業務数を飛躍的に増加させることは困難であるが、住民情報システムの再構築と同時に住民基本台帳カードの多目的利用による住民票などのコンビニ交付システムを構築することにより、稼動後の大幅な利便性の向上が期待できる。</p>	<p>「必要な手続きが多いため（電子化できる）業務数を飛躍的に増加させることは困難」とある。市民はここを見て「それほど電子化できる業務はないのだ」と判断する。もう少し具体的な表現が必要ではないか。</p>	<p>指摘されたような表現を控えた記載に改める。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策06 電子情報化の推進 基本事業02 情報の活用及び利用技術の向上	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
	【指摘等なし】	

担当部署の評価内容	委員の意見
【意見・提言】	<p>年代によってインターネットができる割合は異なるので、例えば、「インターネットができる市民割合（65歳以上）」と、「インターネットができる市民割合（65歳未満）」というような記載も可能かと思うが、年代別の割合というものを成果指標にできないか。そうすることで今後の対策や展望を述べやすいのではないか。</p> <p>基本事業の目的は「市民や職員の情報リテラシーが向上し、インターネットなどを不都合なく利用できる」ではなく、「職員の情報リテラシーが向上し、市民がインターネットなどを不都合なく利用できる」とすべきではないか。ただ、その一方で市としてパソコン教室を開催することによって、市民の情報リテラシー向上に貢献していると言えると思うので、その部分が成果指標としてあってよいように思う。インターネットに接続できることをもって、情報リテラシーが高まっているとは思えない。検討願いたい。</p>